

科目名：医療法規1

対象クラス(コース)：1年 医療ビジネス学科 (医療経営)

単位数：2

担当者名：藤田 勝弘

授業形態：講義と復習、練習問題

教材：医療関連法の完全知識、医療事務「実践対応ハンドブック」

教員の実務経験：病院実務者として医療事務に長年携わっており、並行して医療秘書専門学校で講師経験が40年間。

授業内容(実務経験を活かした指導内容)：病院の職員として、我が国の医療保障制度及びそれに関連する医療法規の知識を学び理解すると同時に、病院経営に重要な役割を果たす診療報酬請求業務の重要性を確認する。また、医療の現場で頻繁に出てくる医療用語と略語の基本的な知識を把握し、自身の成長と医療人として患者さんの接遇に役立つ事を中心に授業を行う。

到達目標：

- (1) 診療報酬請求業務に必要な医療関連法規の理解
- (2) 医療保険制度の把握と理解
- (3) 公費負担医療制度の理解
- (4) 医師を含めた医療従事者が使用する用語と略語と連携の大切さを学ぶ
- (5) 患者接遇を通じてのインフォームドコンセント(IC)を学ぶ

評価方法/基準：

期末試験 80%、授業態度 10%、出席率 10%で評価する。

期末試験では80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、それ以下はD評価とする。

その他、注意事項：

学校での授業はすべて個別で行われていて、一見バラバラに見えるが病院経営に最も重要な診療報酬請求業務に全てが繋がっている事を見極めて学んでほしい。

関連する主な検定試験：

診療報酬請求事務能力認定試験、医療経営士検定試験(初級)

キーワード：

医療関連法規と診療報酬請求業務のつながりの理解、在宅医療「医療と介護及び福祉施設との連携」

<授業計画>

第1週	オリエンテーション、病院に勤める事とは、 医療事務とは何をするの、医療法の概要（病院とは・定義、関連法規）、
第2週	病院の組織（診療部門・看護・副医療・事務部門） 診療の流れ（医師とコメディカルの連携）
第3週	医療費の仕組み（診療録・医療保険等） 医療保障制度（医療保険制度）、日本の医療制度の特徴
第4週	医事課の業務と役割、診療報酬制度（医保・国保） 健康保険法、保険者の種類、資格、任意継続等
第5週	健康保険法、保険診療の範囲、保険給付割合、国民健康保険法 練習問題
第6週	医療従事者に関する法規、医師法、保険医療機関と保険医 薬剤師法、医薬分業（調剤薬局と保険薬剤師）
第7週	高齢者医療確保法（後期高齢者医療制度） 高額療養費、限度額認定制度
第8週	公費負担医療関連法規、生活保護法等 練習問題、
第9週	労働者災害補償保険法（労災・公災）、自動車損害賠償保障法（自賠責） 保険外併用療養費制度、実費徴収可能な費用の把握
第10週	理学療法士及び作業療法士法 言語聴覚士法、視能訓練士法
第11週	臨床検査技師等に関する法律、精神保健福祉士法、臨床工学技士法
第12週	社会福祉士法及び介護福祉士法、介護保険法 練習問題
第13週	夏休み前の復習を兼ねた練習問題 入院時食事療養費に関して
第14週	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 施設基準、
第15週	全体の復習 テスト